

# 教育委員会だより

第3号

益田市教育委員会へ 平成25年10月17日発行



益田翔陽高校生と高津小児童との交流  
(綿づくり)



高津小児童テーブルマナー体験



匹見中学校生徒と道川小児童・地区の子どもとの交流  
(箏体験・ぐるぐるパンづくり)



5月に、小学4年から中学3年までの児童生徒を対象に島根県学力調査が実施されました。この調査から、本市の児童生徒の学習状況や、学習や生活に関する意識や実態を客観的に捉えることができました。概要は次のとおりです。

## 教科に関して

- ・教科や学年によって異なるものの、平均して県より下回っている。
- ・理科と英語は県平均よりかなり下回っている。
- ・成績の変動が大きいのは中1から中2までの1年間である。
- ・上位層の割合が県よりも小さい。
- ・小学校国語の「書く力」は、この数年定着しつつある。

## 生活・学習意識に関して

- ・早寝・早起きの習慣が定着している。
- ・小学生を中心として読書量が多い。
- ・家の手伝い、地域行事へ参

# 平成25年度島根県学力調査について

## 教育改革推進室長 林 衛



加する児童生徒の割合が大きい。

- ・携帯電話等を使う児童生徒の割合が急に大きくなっている。

・家庭での学習時間が少ない。ほとんど学習しない中学生の割合が大きい。

今回明らかになった課題の解決に向けて、教育施策を見直したり、学校における指導の改善を図ったりすることが重要になります。

教育委員会として、各小中学校に対して「授業の改善」や「家庭学習指導の徹底」等について、適切な指導・助言を行っていくとともに、各小中学校の指導力向上に向けた主体的な取組みを支援していきたいと思います。

## 目次

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 表紙(活動紹介)          | ・・・1P   |
| 平成25年度島根県学力調査について | ・・・1P   |
| 教育情報              | ・・・2、3P |
| カラフル給食タイム         | ・・・4P   |
| 寄付、寄贈のお礼          |         |

# 発見！驚き！ふるさと再発見・見学バスの旅

## 雪舟記念館を見学して

雪舟さんが、幼いころから絵を描くことが大好きで、中国で本格的に絵を学びたいという大きな夢をか

なえていたことを初めて知りました。そんな雪舟さんが、益田を好きになつてくれたのは、益田の自然や人々の優しさが理由の一つだと聞き、すごくうれい

です。また、雪舟さんをお招きすることができるほど、当時の益田氏は、財政が豊かであったこともわかりました。

1億円する雪舟さんの絵を初めて見ました。本当に墨で書いているとは思えないほど上手でおどろきました。枝の一本一本も細かく、四季の変化が描かれていました。この立派な絵が500年以上も守られていたのもすごいと思いました。

こんな立派なものが益田にあるとは知りませんでした。

今度は、雪舟さんが作られた四つの名園のうちの二つが益田市にあるので、医光寺と万福寺を訪ねてみたいと思いました。



真砂小学校児童

## 中須東原遺跡等を見学して

7月5日、6年生105名が社会科見学に出かけました。益田市内の歴史や文化などの特色を理解し、ふるさとを愛する気持ちを育むことをねらいとして行いました。

中須東原遺跡では、文化

財課の方のお話を聞きました。中須東原遺跡は、歴史上きわめて重要な港湾遺跡であり、学術上高い価値があり、益田の歴史のみならず日本の歴史の正しい理解のために欠くことができない遺跡であることを説明してもらいました。

子どもたちは真剣なまなざしで話を聞き、興味を持ったことにたくさんの質問をしていました。この日は、小丸山古墳や万福寺の見学も行い、益田の歴史・文化に触れるよい機会となりました。



高津小学校6年生

## 新任ALTの紹介

平成25年度は3年目を迎えるベンジャミン・エリンさんと新たに3名の外国語指導助手を迎え、市内各小中学校の英語指導等に活躍していただいております。



アロン ルビン

こんにちは！アロンです。今年の7月30日にアメリカ東岸のニュージャージー州から新しいALTとしてこの益田市に来ました。趣味はボードゲーム、プログラミング、言語学等です。街で見かけたら、声をかけてくださいね！



ベンジャミン フィックス

ごきげんよう！私は今年から新しく学校のALTを務めているベンジャミン・フィックスでございます。英語も日本語も通じますので、もしよろしければどおぞ声をおかけください！よろしくお願いします。



ルシーア コックレル

先生たちと元気な子どもたちのおかげでどんどんALTの生活になれてきています。英語の勉強楽しくしましょう！

これからもよろしくお願いします！

## 益田市教育協働化推進事業(つうつて子育て)

益田市教育協働化推進事業は、①学校支援、②放課後支援、③家庭教育支援の3本柱で成り立っています。

①は、地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制(協議会)を構築し、多様な教員支援を行うことで、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図ります。子どもたちは、地域住民と関わることで、多様な価値観に触れ、人格形成やキャリア教育の一助となっています。また、連携体制が深まっていくと、地域課題と学校課題が共有され、「地域の中にある学校」として進化していきま

す。いくつかの学校では、子どもや教員が地域行事に企画運営など積極的に関わることで、子どもの自己有用感の高まりやふるさと教育の重要な活動となっています。

②は、子どもたちの体験活動の場をつくる地域のボランティアの拠点(ボランティアハウス)を小学校等の施設内に設置して活動しています。現在、益田市内12か所で行っています。高津や安田地区のように、ほぼ毎日開催の所があれば、月1回のイベント程度開催の地区と様々ですが、学校や家庭とは違う子どもの表情に出会える貴重な場所です。

③は、親学プログラム(島根県東部・西部社会教育研修センター作成)を活用し、主に乳幼児から中学生をもつ親を対象として、「親としての役割」や「子どもの関わり

方



## 中世の湊まちにスポットを当てた講演会を開催します

文化財課では毎年、「歴史を活かしたまちづくり講演会」を開催しています。15回目となる今年は、「港湾遺跡と中世社会」をテーマとして、青森県五所川原市教育委員会(とさみなと)十三湊発掘調査室(さかきばらしげたか)主幹の榊原滋高氏を講師に迎え、十三湊遺跡の発掘・研究成果をお話しいただきます。

しじみで知られる十三湖(じゅうさんこ)のほとりにある十三湊遺跡は、益田市の中須東原遺跡と同じ、中世の湊まちの遺跡で、国史跡に指定されています。中須東原遺跡から国内外の陶磁器が多く出土したように、十三湊遺跡も国内外の陶磁器などの出土品が多数あります。蝦夷地(今の北海道)に住んでいたアイヌ民族との交易も行われており、豪族安藤氏の北方支配の拠点となった、中世の日本を代表する湊まちです。

十三湊と中須、距離は遠く離れています。日本海側の潟湖(一部が海に接する、海水の混じった湖)の地形を利用した湊である点や、近くに寺院や砂丘がある点などが、景観的に良く似ています。

また、中世に益田地域を支配していた益田氏が、北方でしか獲れない昆布や数の子を入手したという記録が残っていますが、これらの海産物は十三湊方面から益田に運ばれたと推測され、日本海に北方と益田をつなぐ海の道があったことがわかります。

このように、2つの遺跡を比較することで、それぞれの遺跡の特徴や、湊まちが栄えた背景を探っていきます。

講演会では、榊原氏の講演のほかに、益田市文化財課の職員による中須東原遺跡の発掘調査報告、講演

者を交えた対談も企画しています。

中世益田の歴史を、より深く学んでみませんか。皆さまのご来場をお待ちしております。

〈講演日時〉

平成25年12月1日(日)

9時30分〜12時15分

(開場:9時)

〈会場〉

市民学習センター

多目的ホール

※入場無料、手話通訳もあります。



中須東原遺跡復元想像図

## 日本の四季を実感

### ますます増える給食の役割

食事は我々の生活に欠かせないものですが、食事自体には多くの役割が含まれていて、コミュニケーションをとる、楽しみ・生き甲斐を持つ、などといった幅広い範囲にまで及んでいます。

学校給食においても単に決められた栄養価を摂取するだけではなく、様々な機会でも食育が推進されており、その中でも伝統食を献立に取り入れながら、日本や地域の文化や伝統を児童・生徒に伝えていく取り組みが増えています。

### 中秋の名月を献立で表現

美都学校給食調理場の9月19日の献立では、当日が「中秋の名月」であったことから「お月見献立」とし、秋の夜空と満月を意識した伝統食を提供しました。味噌汁に加えた団子は従来の丸い形ではなく、手でちぎりながら釜へ入れることで、夜空に

## 伝統食からゆとりとたんらんを

浮かび上がる雲をイメージできるといいます。

この作業は熱い釜の傍に立ち、4人がかりで行う大変な作業ですが、担当した調理員は出来るだけ雲に見えるように、思いを込め団子を汁に入れていました。



団子をちぎって汁に入れる様子

また、児童・生徒に人気のあるゼリーの種類も「お月見」が連想できるようなものを選び、献立を覚えていない児童・生徒にもすぐに「今日はお月見だ」と分かるよう配慮もしています。

夜空や満月といっても、実

### ★9月19日の献立

むぎごはん、むらくも団子汁  
鶏の照り焼き、磯香和え  
牛乳、お月見ゼリー



献立作成 岩成 美紀

際には街灯や建物などに遮られ、鑑賞しにくい現実があります。ですが、児童・生徒自らが「中秋の名月を見よう！」と思うことができれば、家族の皆さんと一緒に鑑賞する等団らん（だんらん）の時間も増えていくのではないのでしょうか。そのようであってほしいと心から願っています。これからの「日本の四季」を感じられる伝統食を届けていきたいと思っています。

## 寄贈、寄付のお礼

### 小学校へ図書寄贈

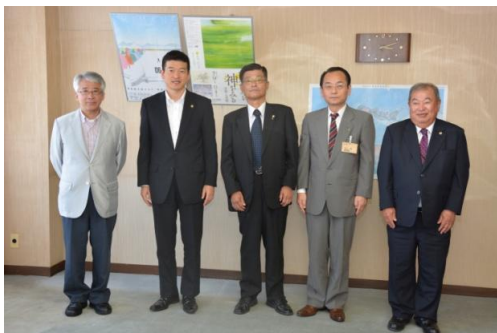
・益田法人会  
・株式会社 中電工 益田営業所

様 様

### 益田市奨学金へ寄付

・社会福祉法人 梅寿会  
・益田ライオンズクラブ

様 様



益田ライオンズクラブ様

## 職員の異動がありました

平成25年10月1日付人事異動による新任職員を紹介します。



教育総務課教育企画係  
指導主任 中山 郁子

よろしくお願いします。

